

○ 7月12日（火） 小樽 ～ 帰途

夜中にトイレへ行ったら雨が降っていた。とうとう雨が到来したか。
今日は小樽港 17:00 発のフェリーで帰宅の途につく。

5時半起床。路面は濡れているが雨は降っていない。

朝食を摂っているうちに雨はすっかり上がって、空が明るくなってきた。

道の駅は9時に開くので、それに合わせてか車が続々と集まってきた。

ここでは今ちょうど「ガーデンフェスタ北海道 2022」が開かれていて、それもあって人が集まってきているらしい。

今日は時間に余裕があるので私も「ガーデンフェスタ北海道 2022」を覗いてみた。

「道の駅・花ロードえにわ」と云うように、恵庭市は「花の街」を掲げており、道の駅の裏には、たくさんの花が植えてある芝生の広場があり、憩いの場として私の好きなところだった。

その広場がフェスタの会場で、7つの創作ガーデンをメインに、たくさんの花々を植えたきれいなイベント会場だった。



10時過ぎに恵庭を出て札幌に向かったが、すっかり天気は回復して晴れ間も出てきた。札幌は羊の丘公園を目指す。毎年のように寄っているのだから特に見る物も無いが、昼飯にジンギスカンを食べたいのでいつも寄っている。札幌はさすがに大都会、道には車がいっぱい渋滞し、たった15km弱しかないのに2時間近くもかかってやっと到着した。レストランでジンギスカン150gコースをいただき目的達成、旨かった。



腹が満たされたところで、フェリーの小樽港へ向かう。この道は通いなれた道、今まで何回走ったことだろう。

14時にフェリーターミナルについて登場手続きを済ませたが乗船まで時間があるので、小樽で有名な「青塚食堂」とはどんな店なのか確認するため祝津へ車を走らせた。

民宿もやっついて一階が食堂。有名な店だけあって客が次々入ってゆく。私にはなんとなくあまり入りたくない気がしない店だなと思った。



ターミナルに戻って乗船の車列に並び、16時に乗船開始。今日はそんなに混んでいないようだ。いつものようにまず風呂に飛び込んで今日までの垢と疲れをゆっくり流した。風呂から出て離れ行く岸壁を眺めながらクラシックビールを飲むのがこれまた定番。

もう10回以上やっているが、何回やっても、離れ行く小樽港を眺めていると、これで最後かな、と感慨深い。今日も海は穏やかで鏡のようだ。

19時前にレストランに行き旅の終わりを祝して生ビールで乾杯し、ビーフシチューの夕食を摂った。



船室に戻り、ビールを飲み直しながら「今回は3年ぶりの北海道だった。天候に恵まれず途中で切り上げて帰ることになったが、でも快晴の旭岳と雨の赤岳をそれぞれ十分楽しむことが出来た。それなりに良い旅だったな」などと回想しながら、眠りについた。

○ 7月13日 フェリー新潟港 ～ 帰宅

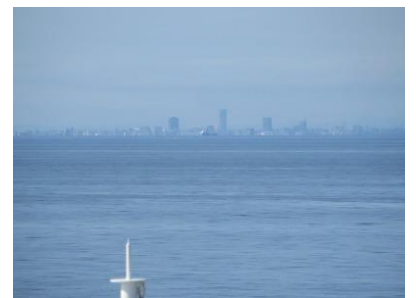
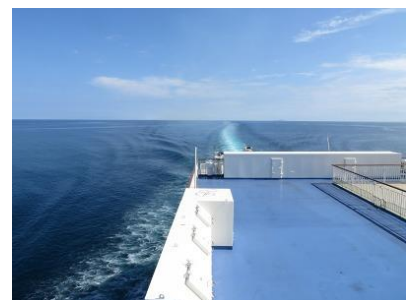
5時に目が覚め船室から出ると、外は快晴、海は穏やか、船は美しい白い航跡を残しながら快走している。

前方遠くに新潟の影が見え始め、風に吹かれながら、だんだん近づいてくる新潟港を眺めている。今年の北海道はこれで終わったな。

9時 定刻に新潟港に接岸し、9時15分上陸。

新潟は快晴で猛暑だ。

夕方 無事帰宅した。



完